

【NEWS RELEASE】

2021 年 10 月 29 日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社竹徳に「SMBC事業継続評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社竹徳（代表取締役：鈴木 康彦）に「SMBC事業継続評価融資」を実施いたしました。

「SMBC事業継続評価融資」は、MS&ADインターリスク総研株式会社（代表取締役社長：中村 光身）（※1）と三井住友銀行が共同で開発した独自の評価基準に基づき、企業の事業継続計画（BCP）（※2）および事業継続マネジメントシステム（BCMS）（※3）の構築・運用状況等を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、事業継続における今後の改善余地や取組のポイントについて、MS&ADインターリスク総研株式会社より還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました株式会社竹徳の事業継続への取組に対する評価では、特に以下の点等が評価の対象となりました。

- ① 食料や簡易トイレ等の防災備蓄品を全社員分+α（来客者など想定）準備されています。加えて、負傷者対応のための応急セットや救出のための資機材など地震初動対応に必要な資機材が幅広く準備されています。
- ② 事業継続力強化計画の認証を取得されるなど、外部の制度も上手く活用しながら自社の事業継続力の向上に取り組まれています。

三井住友銀行では、「SMBC事業継続評価融資」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組を金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



防災訓練の様子



立川再構計画(左が本社)



事業継続力強化計画認定

<ご参考>

※1 MS & AD インターリスク 総研株式会社

MS & AD インシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持つ。

※2 事業継続計画 (BCP : Business Continuity Plan)

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」もしくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

※3 事業継続マネジメントシステム (BCMS : Business Continuity Management System)

BCP をもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組のこと。BCMS は、BCP の策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組が効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためには PDCA (Plan Do Check Action) を実現するマネジメントが要求される。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。
--